



今月の特集

ライフサイクルコストを考えた家づくり

家づくりを考えるとき、どうしても目先の費用である建築費を抑えることに意識が向かいがちになってしまいます。住宅の建築費と建てた後のランニングコストをトータルで考えるメリットと一緒に考えてみましょう。

住宅の企画・設計段階からの試算が重要

ライフサイクルコスト(Life Cycle Cost、以下LCC)とは、住宅だけではなく、製造物すべてを対象に使われる言葉で、住宅の場合は、企画・設計や建築など、その建物をつくるためにかかる初期建設費(=イニシャルコスト)に加え、維持・管理費、改修・修繕費、光熱費、税金、保険などの、建てた後から建物を使うための費用(=ランニングコスト)、さらには、最終的な解体の費用までを含めた総額費用(=生涯費用)のことを指します。一般的に建築後のランニングコストはイニシャルコストの3~4倍になるという試算もあるため、建築費用を抑えることより、むしろ、建物の企画・設計段階から試算を行い「どのようにランニングコストを抑えるか」、そのために「どんな資材や機器を採用するか」をしっかりと検討することが重要になってきます。

具体的な例としては、修繕のサイクルが長い、長寿命・高耐久タイプの資材や機器を採用することが挙げられます。経年劣化が遅ければ、それだけ改修・修繕費を抑えることができますし、建物を長く使うことにもつながります。また、災害による修繕リスクを最小限に抑えることも可能なため、たとえ初期建築費が若干高くなてもその分以上に

後からの見返りが大きくなってくるのです。建物にかかる光熱費は長期間にわたる経費であると考えると、光熱費を抑える設計・資材の選択は、LCCを考える上では非常に優先順位が高い検討事項だと言えるでしょう。

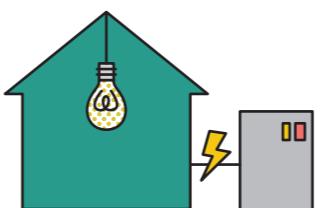
将来を見据えた家づくりは「FPの家」が最良の選択

このように、LCCを意識すれば、住宅はデザインの良さだけでなく、耐久性や省エネ性能など、その家が持つ基本性能がしっかりとしていることが大切だと気づくはずです。つまり、住宅を安く建てることができても、使用する期間中の維持管理費を考慮しないと、最終的には高額になってしまうという落とし穴があるのです。



住まいの知恵袋

ガスマイホーム発電



天候に左右されやすい太陽光発電と違い、都市ガスやLPガスを使って安定的に発電できるガスマイホーム発電。電気代を大幅に削減できるほか、発電したときに放出する熱を捨てずに給湯や暖房に有効活用できるのが特徴です。「エネファーム」の名前で知られるこのシステムの正式名称は「家庭用燃料電池コーチェンレーションシステム」。その仕組みを簡単にまとめると、ガスの中に含まれる水素と空気中の酸素を化学反応させて電気と熱を取り出すというもの。自家発電のため、電気を作る場所と使う場所が同じなので送電ロスもなく、エネルギーを無駄なく利用できることに加え、発電時には二酸化炭素などの排出がなく、環境に配慮しながら光熱費を節約できます。

できたり簡単DIY

ワインボトルリメイク術



誕生日や記念日に開けて飲み終わったワイン。残ったワインボトルを捨てるには勿体無いと思ったことありませんか?オシャレな色やカタチのものであればなおさらのこと。そこで今回は、ワインボトルを素材

に簡単に作れるDIYリメイク術をご紹介。一番手軽なのは花びんです。ボトルに絵や文字を書いたり、麻ひもを巻き付けたりして思いおもいにデコレーションしてみましょう。配管用金具でボトルを板に固定して壁に飾るのも素敵ですよ。ボトルを半分にカットして上半分を逆さにして残った下半分のボトルに差し込めば、ガーデニングに使うプランターへと変身します。この時、切り口でケガをしないよう、サンドペーパーなどで滑らかにするのを忘れずに。

お金の豆知識



新しい500円貨

11月1日より発行開始となった新しい500円貨。重さやデザインが変わるほか、2種類の金属板をサンドイッチ状に挟む「クラッド技術」と、金属リングに別の金属をはめ込む「バイカラー技術」を採用。また、貨幣への導入が世界初となる、側面のギザギザの一部だけを異なる形状にする技術なども見られます。



ギンナン

イチョウの木が色づく秋に実がなるギンナン(銀杏)。イチョウも同じく漢字で“銀杏”と書きます。イチョウ科の植物は2億年以上前に地球上に出現しましたが、氷河期にはほぼ絶滅。現在のイチョウは「生きた化石」として唯一現存する種です。ギンナンは食べすぎると中毒になることもあるのでご注意を。

おしゃれ! DIY 住まいの

カーペットのシミ抜き

カーペットにシミをつけてしまったときは素早い対応が最善策です。まずは、汚れをティッシュや布でつまむように拭い取り、その後、シミの上に家庭用洗剤をつけてから歯ブラシを使ってシミの外側から内側に向かって軽くこすります。汚れが浮き出たら布で拭き取り、洗剤を付けてこする、を繰り返します。

